

大雨対策について

【過去の大雨の様子】



備えておくこと

◆ 大雨に関する情報を確認する

- ・ テレビ、インターネット、ラジオなど



◆ 停電に備える

- ・ 懐中電灯、ろうそく、携帯ラジオを含めた災害備蓄リュックなどを用意する



◆ 苫小牧市総合防災サイトを確認する

http://tomakomaicity.bosai.info/pinpoint/tomakomaicity_chubu.html



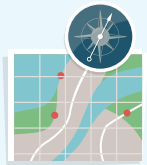
◆ 断水に備える

- ・ 浴槽に水をはる
- ・ ペットボトルに水を入れるなど



◆ 避難経路の確認をしておく

- ・ 日頃からハザードマップで危険箇所をチェックする
- ・ 家族で避難場所や避難経路の確認を行う



大雨時の対処方法

【たくさんの水を流さない】

大雨のときは、下水道管にたくさんの水が流れています。お風呂や洗濯を控えるなど、家庭から出る水を減らすことで、下水道の負担を軽減することができます。



【トイレや台所が使えないときは】

大雨で下水道管が満水になると、トイレや台所の水が流れにくくなります。また、雨が止んでも下水処理に時間がかかり、しばらくトイレが使えないことがあります。時間の経過と共に状況は改善されていきますので、水の流れを確認しながら使用してください。



【「ぼこぼこ」と音がするときは】

大雨が降るとトイレや台所から「ぼこぼこ」と音がする場合があります。下水道管が雨水で満水になり、行き場を失った空気がトイレなどに押し出される現象です。空の影響でたまり水があふれそうなときは、バケツでくみ取るなどあふれないように注意してください。

ご不明な点は下水道計画課まで
お問い合わせください

TEL (32)-6604

下水道で実施している大雨対策事例

◆ 雨水排水ポンプ車による排水

ハード対策



下水道管の能力を超える大雨により、道路冠水が予測される場合には、「雨水排水ポンプ車」を配備し、強制排水を行うことで、浸水被害の軽減に努めています。

◆ 下水処理施設監視システム

ソフト対策



大雨を排除するポンプの運転状況は、下水処理施設監視システムで24時間監視し、不測の事態にも迅速に対応できるように、体制を整えています。